

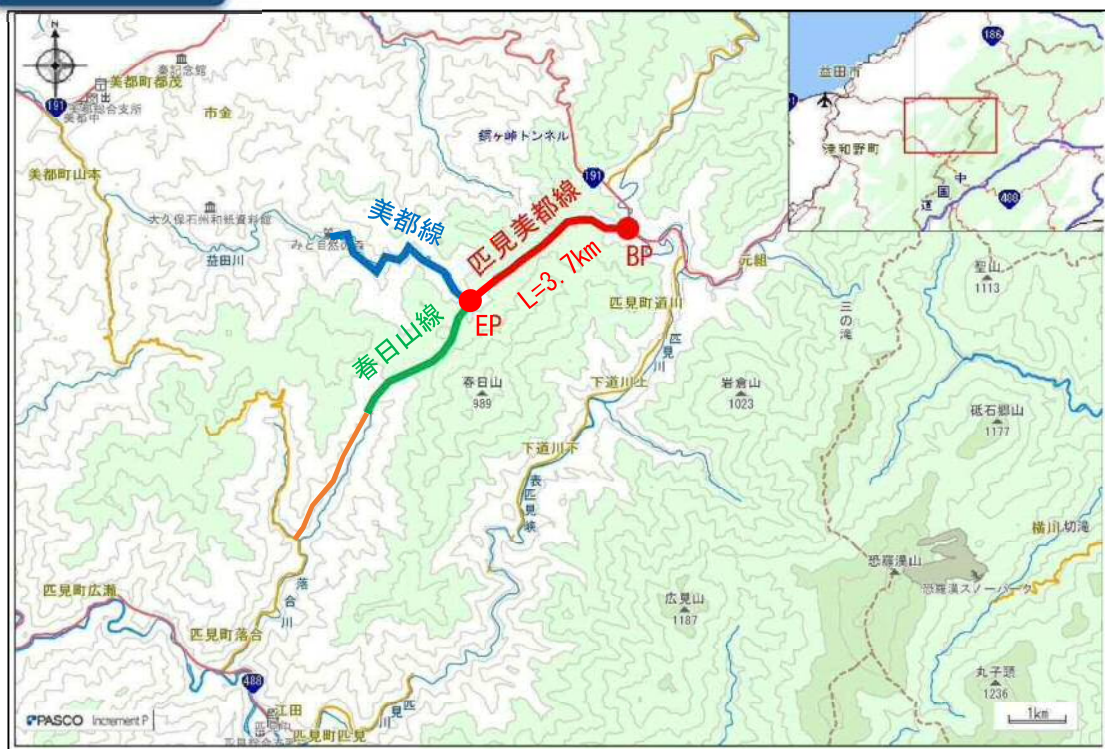
・ 広域基幹林道「匹見美都線」の工事着手 ・

本路線は、林野庁が昭和 48 年に策定した「大規模林業圏開発基本計画」を基に、長期的・総合的な地域開発を目的として、大規模林業圏開発林道事業の中国山地公団幹線・支線林道山陰ルート「波佐・阿武線」の「匹見・美都区間」として計画された林道です。

この事業は、森林開発公団（後の独立行政法人緑資源機構）が事業主体となり各区間の整備を進めてきましたが、平成 19 年に緑資源機構が廃止されたことに伴い、平成 20 年度からは島根県が事業を引継ぎ、広域基幹林道整備事業として各区間を整備することになりました。

その中の一部である匹見・美都区間は、路線名を「匹見美都線」として、平成 26 年度より事業着手し、測量・設計及び各種調整を経て令和元年度より路線起点となる益田市匹見町道川地内の橋梁工事に着手しました。

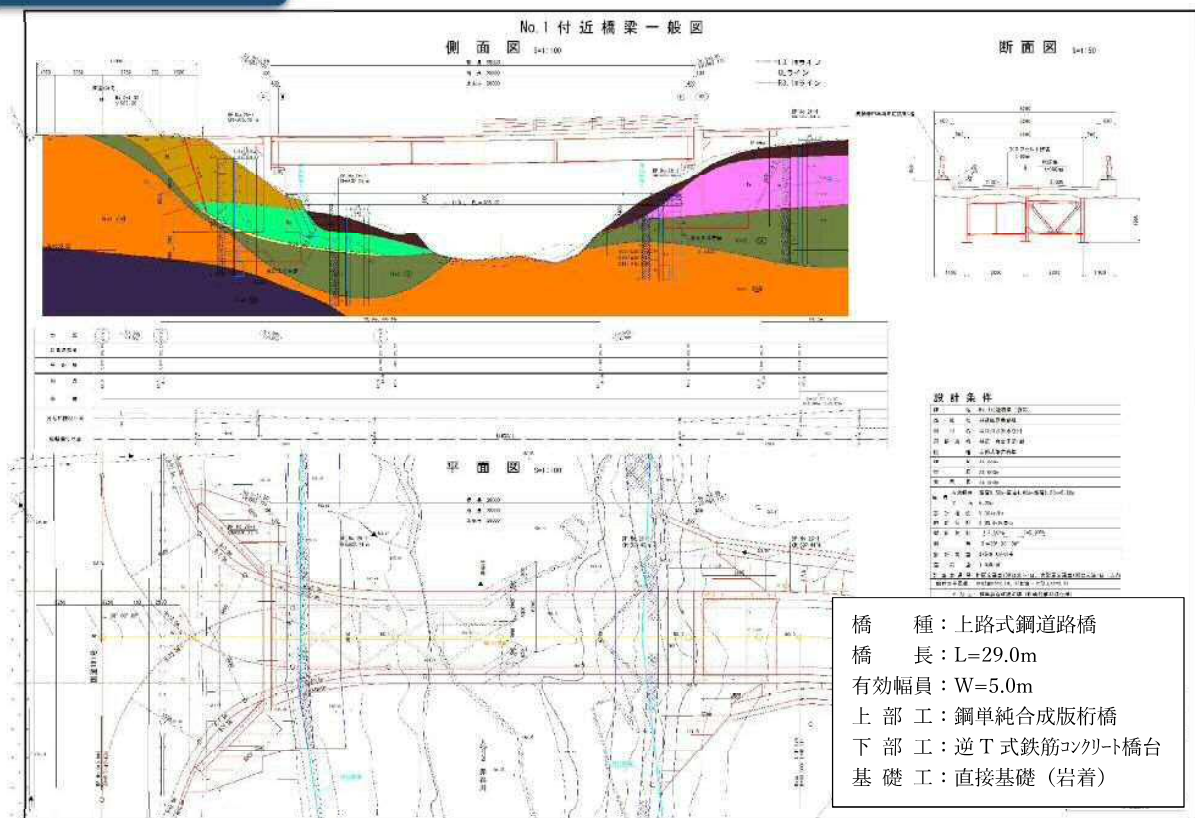
【 位置図 】



匹見美都線は、益田市匹見町道川地内と同市美都町都茂地内を結ぶ延長 L=3.7km、幅員 W=5.0m の道路です。

また、匹見美都線の接続道路である林道春日山線と、支線として計画されている林道美都線が同時採択され、適切な森林整備の推進と地域環境の改善等のために 3 路線を並行して一体的な整備を進めています。

【 橋梁一般図 】



（現在行っている工事の紹介）

国道 191 号に接続する起点箇所の橋梁工事より着手し、令和元年度に起点側の A1 橋台を施工しており、令和 2 年度工事では対岸の A2 橋台と上部工を順次施工する予定です。

橋梁工事の期間は 3 カ年を予定しており、令和 3 年度末の完了を目指し進めています。

【 写真 】

○起点付近（令和 2 年 7 月撮影）



○左岸橋梁下部工（令和 2 年 7 月撮影）



大規模林業圏開発林道事業で進められてきた県内各路線も、匹見美都線の着工により全路線・全区間の着工が実現しました。

路線開通の効果も大いに期待されていますが、県内大規模林道の全線開通により、周辺森林の林業活動はもとより周辺市町の広域的な物流等、地域振興に大きく寄与するものと考えます。

県内で最後に着手した大規模林道「匹見美都線」の早期開通に向けて今後とも取り組んでいきます。